

項目	説明	
試料・情報 の利用 目的 及び 利用方法	研究課題名	DPC およびがん登録の統合データを用いたがん診療リアルワールドデータ分析
	研究対象者	2016 年 1 月から 2020 年 12 月までに神奈川県立がんセンターで診療を受け、診療情報を含む個人情報 の利用について包括同意が得られているがん患者様
	研究目的	実験的環境ではない現実のがん診療で蓄積されたデータは、がん診療の実態を評価するうえで 大変重要です。一方で、活用にあたっては、データの質と標準化、個人情報の取り扱い、長期 的な転帰（生存・死亡の状況など）の取得など様々な課題があり、有効に活用されているとは 言い難い状況です。しかし、複数のデータベースの組み合わせにより欠点を補い、データ利用 の専門性を持つ者が集団的に参画することで、これを克服することが可能となります。 本研究では、がん診療の詳細な情報を含む一方で診断情報や転帰情報に欠ける DPC データ（入 院治療内容と医療費の明細記録）と、それを持つ一方詳細な臨床情報に欠ける院内がん登録デー タを組み合わせることで、化学療法（抗がん剤治療）を中心とする現実の診療が、指針となる診 療ガイドライン等に照らしてどの程度実施され得るのか、また標準治療の定まっていないがん種 や集団で実際にはどのような治療が行われているのか、生存期間はどのようか、といった複数の テーマについて分析を行い、現状を明らかにします。
	研究方法	神奈川県立がんセンターの DPC データおよび院内がん登録データの 2 つのデータセットから同 一個人を統合したデータセットを作成し、複数のテーマから解析および評価を実施します。 研究テーマ： テーマ 1) 転移・再発がんにおける標準化学療法（基本的に実施が推奨される抗がん剤治療）の 実施状況 テーマ 2) 転移・再発がんにおける標準治療終了後の化学療法選択 テーマ 3) 希少がん患者に対する化学療法選択 テーマ 4) 化学療法に伴う制吐薬（吐き気止め）投与の使用状況 評価項目：標準治療実施率、ガイドライン遵守率、化学療法レジメン（抗がん剤治療の内容）の 種別、レジメンごとの治療継続期間、全生存期間など
	個人情報保 護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容 易に個人を特定できないようにカルテ番号を加工した研究用の番号（識別コード）で管理します。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 6 月 2 5 日 ～ 西 暦 2 0 2 7 年 3 月 3 1 日
利用又は提 供を開始す る時期	[] 総長が研究実施を許可した日	
	[] 西暦 2025 年 7 月 10 日頃（研究の進捗によって前後いたします）	
利用する 試料・情 報の項目 （チェック [X] が入っ た項目を利用 します）	[] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____)
	[X] 情報:	[X] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X] 年齢、[X] 生年月日、[X] 性別、[] 既往歴、 [X] 併存疾患、[X] 外来日・入院日・退院日、[] 臨床検査値、[] 放射線診断や超音波検査、内視 鏡検査等の画像データ、[] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[] ゲノムデータ、[] 看護記録、[X] その他(具体的に記載: 研究対象者の院内がん登録および DPC・レセプトデータ)

試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	臨床研究所 がん予防・情報学部 成松 宏人（研究代表）
	共同研究機関および責任者	株式会社 JMDC 徳渕 慎一郎
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター臨床研究所・がん予防・情報学部 渡邊 要 電話：045-520-2222（代表） E-mail: ka-watanabe@gancen.asahi.yokohama.jp 利用停止のお申し出は 2025 年 8 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります